

## 地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分)

都道府県名: 京都府

1. 事業名	女性が輝く京都づくり事業
2. 実施期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日
3. 事業の趣旨・目的	京都企業における女性活躍を効果的に推進するため、経済団体等と行政(京都府・京都市・京都労働局)の連携による「輝く女性応援京都会議」(女性活躍推進法に基づく協議会)を母体として、女性活躍推進に向けた人材育成研修、中小企業におけるワーク・ライフ・バランス推進、女性起業家の支援等、職場等における女性活躍支援や、コロナ禍における様々な困難・課題を抱える女性への支援など、地域・家庭等における女性活躍支援等を各団体と連携しながら多角的な取り組みを実施した。
4. 事業内容	<p>①京都ウイメンズベースアカデミー事業 役員等、企業的意思決定に参画できる女性中核人材を育成するための研修を実施し、府内企業における女性活躍の推進を図った。</p> <p>②女性活躍・WLB推進企業応援チームによる中小企業支援 京都府内中小企業等のワーク・ライフ・バランス及び女性活躍の取組を推進するため、「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度取組支援と女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業への働き方の見直しや女性活躍の推進などのための職場環境整備支援を行った。</p> <p>③女性の起業・経営支援事業 起業アイデアを持った女性の社会参画を促し、女性起業家の裾野を広げるため、アイデアのブラッシュアップから顕彰・事業化までの支援を行った。</p> <p>④女性つながりサポート事業 コロナ禍が長期化する中で女性の社会的・精神的不安が多様化・深刻化していることから、様々な困難・課題を抱える女性に対する支援を強化した。</p> <p>⑤女性寄り添い支援事業 様々な困難・課題を抱える女性が増加する中で、どんな方でも気軽に相談できる体制づくりのため、窓口時間を延長するとともに、SNSを活用した相談対応を強化した。</p>
5. 事業効果及び効果検証の概要	各事業において、参加者アンケート、参加者に対するヒアリング、委託事業者の実績報告書等から事業の効果を検証し、成果を確認している。 また、中長期的には、輝く女性応援京都会議で策定した「京都女性活躍応援計画」(女性活躍推進法に基づく推進計画)の参考指標である、「役職者の女性の状況」等の指標により、京都における女性活躍の状況を把握し、事業の効果や今後の展開について検証・検討を行っている。
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>①京都ウイメンズベース事業 京都ウイメンズベースアカデミーによる研修・セミナー参加者数(アウトプット) 目標:240人 → 実績:310人(達成度 129%) ・参加者からのアンケート結果からも、企業経営に求められる具体的な知識やスキルの習得、様々な気づきを得る機会となったとの感想をいただいております、女性活躍の推進を図ることができたと考えます。また申込企業40社中、20社が過去にも参加いただいている事業所で、女性活躍に対する意識の高さや府内企業における本研修の意義や成果が広まっていると考えます。</p> <p>②女性活躍・WLB推進企業応援チームによる中小企業支援 「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証取得企業数(アウトプット) 目標:580社 → 実績:591社(令和5年3月28日時点) 女性活躍応援マネージャーの積極的な働きかけや、令和4年度からの従業員300人以下企業の女性活躍推進法の義務化への対応等により、目標値を達成する事ができたと考えます。ワーク・ライフ・バランス推進のための取り組みや育児介護休業法の改正に関する研修など、多様な企業のニーズに応じ中小企業の女性活躍推進を支援することができたと考えます。</p> <p>③女性の起業・経営支援事業 第11回京都女性起業家賞応募者数 目標:50名 → 実績:37名(達成度74%) 37名の多様な分野の起業アイデアから、応募の中、AI/MLによるビッグデータを用いたデジタルヘルスケア関連事業等、優れたアイデアを選考・ブラッシュアップを行うことで本府の女性起業家の裾野拡大促進につながったと考えます。</p> <p>④女性つながりサポート事業 相談件数2,250件の目標に対し、相談件数の実績は2,935件(※)となり、目標を大幅に上回った。広報などを通じて本事業が広く周知され相談が増加したことが要因と考えている。 (※)京都府男女共同参画センターの既存体制での相談件数1,216件を含む</p> <p>⑤女性寄り添い支援事業 相談件数500件の目標に対し、相談件数の実績は911件となり、目標を上回った。SNS相談の気軽さが相談者増加の要因と考えている。</p>

7. 今後の課題	<p>①京都ウィメンズベースアカデミー事業 府内全域に更に取組が広がるよう、事業後のアンケート結果も踏まえ、事業内容、開催方法、広報・集客方法等について、より効果的な取組となるよう検討が必要</p> <p>②女性活躍・WLB推進企業応援チームによる中小企業支援 女性活躍応援マネージャーが個々の企業に訪問し、当該企業の実態に応じた個別具体的な支援を行うことで、女性活躍推進に向けた成果をあげられているが、個別の企業への支援であり、多数の企業を一括に支援することができないことから、継続して支援を行い、女性活躍推進に取り組む企業を増やすことで、府内全域に効果を波及させていく必要がある。</p> <p>③女性の起業・経営支援事業 京都府内における起業家に占める女性割合は29年度調査で17.2%※と低調ではあるが、今回の女性起業家賞では、53人の応募と目標を超える応募があり、アイデアを持った潜在的な女性起業家の存在と、ブラッシュアップに対するニーズは、高いと感じられるため、今後も継続的に女性起業家への支援が必要である。また事業PRと女性起業家同志のネットワーク形成へのニーズも高く、関係団体等と連携し取り組んでいく必要がある。</p> <p>④女性つながりサポート事業 困難を抱える女性への支援が求められる中、女性相談による支援は重要性を増しているが、相談事業実施のための財源確保が課題となっている。</p> <p>⑤女性寄り添い支援事業 困難を抱える女性への支援が求められる中、女性相談による支援は重要性を増しているが、相談事業実施のための財源確保が課題となっている。</p>
8. 事業の実施体制	<p><b>【事業番号①～③】</b> 京都ウィメンズベース(事務局:京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所)において、事業の企画・立案を行い、それぞれの業務内容に精通した事業者にも業務を委託。委託後は進捗管理を行うとともに、業務の詳細、広報等について、随時受託者と調整しながら事業を執行。 (各事業共通) 「輝く女性応援京都会議」の構成団体と、各事業の広報・周知等において連携 京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所、京都商工会議所女性会、京都府商工会議所連合会、京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都府中小企業女性中央会、(一社)京都経営者協会、(一社)京都経済同友会、(公社)京都工業会、京都府商工会女性部連合会、日本労働組合総連合会京都府連合会、国際ソロブチミスト京都、国際ゾンタ京都クラブ、(公財)大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、(公財)21世紀職業財団関西事務所、京都府男女共同参画センター、京都市男女共同参画センター</p> <p><b>【事業番号④】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府男女共同参画センターの相談体制の強化 昨年度から継続して、電話相談員1名増員し2名体制で実施</li> <li>・民間団体による女性相談の実施 民間団体等2団体に委託して実施</li> <li>・女性相談・伴走支援を行う人材の育成 民間団体2団体に委託して実施</li> </ul> <p><b>【事業番号⑤】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性相談窓口時間の延長 民間団体1社に委託して実施</li> <li>・SNSを活用した相談対応強化 民間団体1社に委託して実施</li> </ul>